

第 18 回 揖保川流域委員会 審議結果速報

◆日時：平成 18 年 3 月 22 日（水） 13：00～16：45

◆場所：たつの市新宮ふれあい福祉会館

委員会の主な内容

1. 揖保川河川整備計画（環境）の基本的な考え方

河川管理者より「揖保川河川整備計画（環境）の基本的な考え方」の 2 回目の説明があり、河川整備計画段階における影響分析計画書（案）にもり込むべき事項についての提案、提案内容に対する審議が行われました。

治水の具体的な対策としては、昭和 47 年洪水を想定した場合に対策が必要な中上流域の 7 地区において考えられる複数案が示され、各案を実施した場合に予想される河川環境への影響の説明がありました。

また、環境面での具体的な対策としては、アユ等が遡上できる魚道の整備、散策路ネットワークや水辺プラザの整備のほか、下流域では、三川分派地区（姫路市余部区上余部とたつの市御津町との間にある広大な中洲）の環境整備や、林田川の水枯れ対策としての揖保川からの導水が示され、それぞれの事業実施による河川環境への影響が説明されました。

これらの整備事業の実施に伴って影響が想定される環境要素を抽出し、環境影響分析の対象として選定することが河川管理者から提案され、委員会で検討した結果、河川管理者の原案が了承されました。

今後は影響分析計画書にもとづいて環境影響分析が行われ、複数案の比較が行われます。（分析計画書及び分析報告書は河川管理者から公表される予定です。）

2. 今後の予定

委員会の冒頭に行われた非公開審議の結果、委員委嘱期間の更新を機に辞任された 3 名の委員の後任委員候補者を、次回委員会にて選定することになりました。

3. 傍聴者からの発言

1 名の傍聴者から、以下の発言がありました。

- ・計画高水位とは、いつの洪水に基づくものか。
- ・掘削案の話があったが、揖保川では現在砂利採取は禁止されているはずである。計画河床はどうなっているのか。等

以上